

## 7. A隊行動記録表

| 第1日          |         | 第2日          |                | 第3日          |                | 第4日          |                 |
|--------------|---------|--------------|----------------|--------------|----------------|--------------|-----------------|
| 8月7日(火)      |         | 8月8日(水)      |                | 8月9日(木)      |                | 8月10日(金)     |                 |
| 開会式          |         | 平標山コース       |                | 苗場山コース       |                | 三国峠コース       |                 |
| 宿舎           |         | 苗場プリンスホテル幕営地 |                | 苗場プリンスホテル幕営地 |                | 苗場プリンスホテル幕営地 |                 |
| 時刻           | 地点・行動   | 時刻           | 地点・行動          | 時刻           | 地点・行動          | 時刻           | 地点・行動           |
|              |         | 3:30         | 起床             | 3:30         | 起床             |              |                 |
|              |         |              |                |              |                | 4:00         | 起床              |
|              |         | 5:00         | 引継式            | 5:00         | 引継式            | 5:32         | 引継式             |
|              |         | 5:35         | 幕営地バス出発        | 5:24         | 幕営地バス出発        |              |                 |
|              |         | 5:45         | 平標駐車場 着        |              |                |              |                 |
|              |         | 6:06         | 平標駐車場 発        | 6:13         | 祓川駐車場 着        | 6:04         | 幕営地バス出発         |
|              |         | 6:47         | 台地 着(小休止)      | 6:41         | 祓川駐車場 発 チーム行動  | 6:15         | 三国峠登山口 着        |
|              |         |              |                |              |                | 6:25         | 三国峠登山口 発 隊行動    |
|              |         | 7:47         | 鉄塔台地 着(小休止)    | 7:40         | リフト降り場 副隊長着    | 7:05         | 三国峠 着(小休止)      |
|              |         |              |                | 7:50         | リフト降り場 隊長着(集結) |              |                 |
| 8:45         | 受付      | 8:40         | 松手山通過          | 8:22         | リフト降り場 発 班行動へ  | 8:11         | 三国山先鞍部 着(小休止)   |
|              |         |              |                | 8:26         | 下ノ芝通過          |              |                 |
| 9:10         | アトラクション | 9:04         | 1677標高点 着(小休止) | 9:01         | 中ノ芝 着(小休止)     | 9:28         | 1597標高点先 着(小休止) |
|              |         | 9:40         | 1677標高点 発 班行動へ | 9:29         | 上ノ芝通過          |              |                 |
|              |         |              |                | 9:39         | 股すり岩通過         |              |                 |
|              |         |              |                | 9:46         | 田代分岐通過         |              |                 |
| 10:00        | 開会式     | 10:26        | 平標山頂 着(小休止)    | 10:07        | お花畑 着(小休止)     | 10:03        | 三角山通過           |
|              |         |              |                | 10:42        | 雲尾坂通過          | 10:51        | 平標山の家手前 着(小休止)  |
| 11:05        | 登山隊編成   | 11:08        | 平標山の家 着(小休止)   | 11:13        | 苗場山頂 着(大休止)    | 11:56        | 林道出合い 着(大休止)    |
|              |         |              |                |              |                |              |                 |
| 12:00        | 各種審査    | 12:01        | 林道出合い 着(大休止)   | 12:10        | 雲尾坂通過          |              |                 |
|              |         | 12:37        | 林道出合い 発 隊行動へ   | 12:27        | お花畑 着(小休止)     |              |                 |
| 13:32        | コース隊編成  | 13:27        | 平標駐車場 着        | 13:02        | 田代分岐通過         | 13:34        | 平標駐車場 着         |
| 13:56        | バス出発    | 13:50        | 平標駐車場バス発       | 13:10        | 小湿地 着(小休止)     | 13:37        | 解散式             |
|              |         | 13:58        | 幕営地バス着         |              |                |              |                 |
| 14:42        | 幕営地バス着  | 14:18        | 講話             | 14:23        | リフト降り場 着(小休止)  | 14:10        | バス出発            |
|              |         | 14:40        | 引継式<br>諸審査開始   |              |                |              |                 |
| 15:00        | 合同引継式   |              |                | 15:07        | ゴンドラ山頂駅 着(小休止) |              |                 |
| 15:18        | A隊引継式   |              |                |              |                |              |                 |
| 15:44        | 設営審査    |              |                |              |                |              |                 |
| 16:06        | A・B隊交流会 |              |                | 16:00        | ゴンドラ山麓駅 着(集結)  |              |                 |
|              |         |              |                | 16:16        | ゴンドラ山麓駅発 隊行動へ  |              |                 |
|              |         |              |                | 16:40        | 幕営地着           |              |                 |
|              |         |              |                | 16:45        | 引継式<br>諸審査開始   |              |                 |
| 17:05        | 炊事装備審査  | 17:00        | 入浴             |              |                |              |                 |
|              |         |              |                |              |                |              |                 |
| 20:00        | 消灯・就寝   | 20:00        | 消灯・就寝          | 20:30        | 消灯・就寝          |              |                 |
| 苗場プリンスホテル幕営地 |         | 苗場プリンスホテル幕営地 |                | 苗場プリンスホテル幕営地 |                | 宿舎           |                 |

## A隊行動記録

A隊コース隊長 笛 木 勉  
(新潟県立巻高等学校)

### 第1日目 8月7日(火) 開会式

10:00、開会式。心配していた程気温は上がらず、会場の湯沢カルチャーセンターの中は快適であった。粛々と式が進行する中で、選手宣誓では、新潟県代表の2人がりっぱに責任を果たしてくれた。続くペーパー・気象審査の間、役員・監督はカルチャーセンターの外へ出るようになったが、式の途中で降った雨のおかげか暑さを感じることなく待つことができた。

審査を終え、カルチャーセンターに戻った後、コース隊編成を行った。昨年の視察を踏まえ、A隊とB隊で場所を分けて実施。A隊はカルチャーセンター内で行った。ここで初めて、A隊の役員・選手が一同に会した。コース隊長挨拶では、「皆さんに高校生活での青春の1ページを飾る、素晴らしい経験をして戴きたい」と話したが、インターハイを終えた今、どのように心に残っているのだろう。

13:32、コース隊編成を終え、カルチャーセンターから高速道路脇のバス乗り場まで移動。ザックを背負って歩く姿は各地方大会を勝ち抜いてきた自信に満ちあふれ、堂々としたものであった。改めて選手全員が全力を出し切れるような大会運営をしなければと気持ちを引き締めた。ここですでに体調不良の生徒がいたとの報告を受けており、先行き不安な気持ちで最後尾のバスに乗り込んだ。40分ほどバスに乗り苗場プリンスホテルに到着。今回の大会では、幕営地は男女共に同



じ場所で3泊する形態をとった。設営隊の業務量を大きく減らすと共に、選手の移動を少なくして、登山に力を発揮してもらうためである。

15:00、男女合同の引継式が行われ、真島設営隊長からその人柄が感じられる、心のこもったお話があった。続く隊別の引継式の後、設営審査が行われた。男女2隊、約90チームが一斉にテント設営する様子は、圧巻であった。開会式から体調を崩していた生徒のチームは残念ながら、設営審査には入れなかった。

16:06、テント設営後の審査の時間を利用して、男女合同の交流会を始めた。昨年の青森大会で初めて行われたこのスタイルを今年も踏襲した。男女共に8班編制のため、昨年あった「男子組」は無し。話しぶりが慣れているなあと感じる学校もいくつかあったが、はにかみながら精一杯自分たちを紹介する姿にはほほえましさを感じながら、こちらも楽しませてもらった。この交流会が



選手隊達の緊張を一時であれほぐし、明日からの厳しい登山行動で最高のパフォーマンスを発揮する一助となることはもちろん、大会を通じてよい思い出になることを感じていただけない、選手隊たちの笑顔が私自身の緊張をほぐしてくれた。審査が思いの外時間がかかったものの、班長・副班長のうまい進行で、ちょうどよい時間に終わってもらった。

宿舎での役員ミーティングでは、明日の行動予定の確認、特に隊行動から班行動への切り換え後の注意点を確認した。

### 第2日目 8月8日(水) 平標山コース

3:30、起床。幕営地での選手の様子と天候

が気になりながらの起床であった。大会本部で本日の気象を確認し、選手のいる幕営地へ向かう。

5:00、引継式。各班長に選手達の健康状態を確認した後、熱中症対策のためにサンプリングを配付して、その場で飲んでもらった。今年の夏は新潟でも非常に暑く、熱中症対策が最大の課題であった。その一つが毎日出発前の給水で、コココーラから提供していただいたサンプリングを有効活用させていただいた。その後、設営隊に見送られながらバスで出発。10分後、平標駐車場に到着。

6:06、隊を整え再出発。出発の合図をするための笛がすぐに引き出せず、急遽指笛をならす。選手最後尾の隊長が動き出すまでに5分要した。しばらく舗装道路を歩き、茂木新潟県高体連会長、上杉新潟県高体連事務局長の激励を受け、登りに入る。この日の平標山コースはメイン行動で、最初の急登をいかに登り切るかが鍵となるコースである。副隊長Aとは何度も事前踏査しており、ほぼ予定通りに1回目の休憩地点に到着。そこで見た、稜線にずらりと並ぶ1隊200名の選手の様子は壮観であった。心配していた天候は曇り、気温も予想していたより低めで、今大会最初の本格的な山行としては上々の滑り出しとなった。

8:40松手山山頂。晴れていれば一ノ肩から平標山へ続く稜線が見えるものの、ガスに遮られて見えず。気温も以前低めのままで、これが幸いしたのか、体調不良をうったえる選手は一人もいなかった。

9:04、1677標高点到着。ここから班行動に切り替わった。先頭が班長に変わり、3分間隔を開けて出発。無線でのやりとりも先日の事前踏査での打合せ通りで、スムーズに行われた。

一ノ肩直下での急登。ここが本日の正念場で一番キツイ場所であったが、たくさんのお花に囲まれ、気持ちを切り換えられたのではないだろうか。一ノ肩に到着したときは、「今日はいける」と確信した。

10:03、山頂着。ガスがかかっているため遠望はきかないものの、吹く風はさわやかで

気持ちよく休むことができた。10分の休憩後出発。もう少しゆっくりさせたい気持ちはあったが、そもそも、平標山の山頂は1隊が休憩するには狭いため、全パーティーに山頂で休憩を取らせてあげたいことから班行動を設定した経緯があった。



10:14、山頂発。稜線に敷かれた木道を慎重に下る。ここでスリップによる転倒が心配されたが、さすが全国大会に参加する学校だけあって難なく山の家まで到着した。その山の家直前で後ろに続く監督の一人が転倒し、脱臼する報告が副支隊長からあり、緊張が走った。幸い、同行していた医師が専門の方で、適切な処置をいただいたので、その後の行動に全く支障がなく、事なきを得た。

12:01、林道出合い着。予定どおり冷えたサンプリングが渡され、渴いたのどが潤った。大休止の後、隊編成を再度行い、隊行動に切り換えた。ここから平標駐車場まではほぼ平らな林道歩きで、疲れた選手にとっては、ダレそうな行程であるが、どのパーティーも気を抜くことなく、しっかりと歩いてくれた。

13:27、平標駐車場着。この頃には日が差すようになっていたが、標高1000mの高地であり、さわやかな風が吹く中で、気持ちよく平標山を登り終えることができた。トイレ休憩の後バスに乗車。苗場プリンスホテル到着後、幕営地脇の芝生で藤田善思先生の講話をお聞きした。貴重な資料を用意していただいたお話で、短い時間ではあったが、たいへん有意義であった。





14:40、引継式。続いて設営審査。幕営地は昨日と同じものの、各パーティーの設営エリアを変えることで公平性を保った。

この日は、苗場プリンスホテル内の大浴場を貸していただき、男子は全員入浴できることになっていた。限られた時間の中であったが、1日目の疲れを取ってもらえたのではないだろうか。

宿舎での役員ミーティングでは、本日の反省と明日の行動予定。特にチーム行動における役割分担と、その後の班行動、隊行動の切り換え後の注意点を確認した。また、A隊、B隊共に、翌日のコースをそれぞれ歩いていることで、反省を踏まえた情報交換が非常に有効であった。

### 第3日目 8月9日(木) 苗場山コース

3:30、起床。5:00、引継式。メインザックを集積場にまとめ、サブザックを持ってバスに乗り込んだ。設営隊の見送りを受けて幕営地を出発。予定より若干遅れ、6:13に祓川駐車場に到着。トイレを済ませたところから出発地点に集合した。

6:25、先発の副隊長と集合地点で待機する班長4名と支援の役員が出発。

6:40、副隊長の「出発」の声とともにチーム行動を開始。多くの生徒がトイレに行ったため予定より10分ほど遅れたが、想定内に収まって安心した。また、スタートにおいて心配された転倒や昨年のような激しい先頭争い等は起こらず、各チーム整然と並び和田小屋までの舗装道路を登り始めた。昨年の反省を生かし、集合地点までを

60分～90の余裕をもった時間設定にしたことから、コースをおよそ3等分し、先頭の副隊長は20分ずつ、最後発の隊長は30分ずつのイーブンペースで登ることとしていた。先頭の副隊長は、通過ポイントを予定通りの時間で通過し、隊長である私は最後尾のパーティーを遠目に見ながら、ペースを調節。全パーティーが無理することなく、時間内に集合地点に到着することができた。



8:10、班編制の後、班行動を開始。所々で可憐に咲くお花に励まされながら、ほぼ予定通りに休憩地点を通過。神楽ヶ峰からの登り返しでは、苗場山の山頂へ伸びる登山道が一望できる、絶好のロケーションに遭遇することができた。予想どおり、山頂直下の急登では若干の渋滞が起こったものの、難所も事故無く全パーティー通過し、全員が山頂付近の高大な湿原に到達できた。山頂付近は時々ガスがかかり、遠望がきかなくなることがあるものの、それが幸いしてか気温が上がらず、気持ちよく登りの疲れを癒すことができた。

一方、この山頂付近で思いもかけないことが起こった。大休止時に監督団との交差が予定されていたが、監督団の到着が遅れそうだったために、急遽ペースをあげてもらったこととなった。途中でリタイアされる監督がおらず、無事に登りきっていただき、感謝申し上げたい。その苦勞あって、湿原に敷かれた木道を整然と歩く選手の姿を写真に納めてもらうことができた。

11:23、先頭の班より下山開始。今回の大会で最も気を遣った行程で、安全第一を各班長にお願いして進んでもらった。特に、田代スキー場

への分岐からは、インターハイの準備が始まるまではあまり利用されておらず、ぬかるんで滑りやすい、急な下りが続くコースであった。インターハイに向けて改めて調査した区間で、同時に、関係諸機関の御理解のもとにコース整備を行い、参



加者を安全にドラゴンドラ山頂駅まで歩けるよう配慮していただいた。行動途中、体調不良で行動離脱が1チームでたものの、それらも含め、山頂に立った選手・監督全員にドラゴンドラに乗車してもらうことができた。約20分間の空中散歩がインターハイでの思い出の一つとなってくれば幸いである。

16:16、ゴンドラ山麓駅出発。行動離脱したチームは、車で幕営地まで移動。

16:36、幕営地着。約10時間の長い行程であった。選手はもちろんであるが、行動役員も無事に歩き通せたことに感謝した。

16:45、引継式。幕営地での過ごし方で、改めて注意を受ける。

宿舎での役員ミーティングは夕食後。本日の反省と明日の行動予定を確認した。明日は最終日で、これまでのインターハイの行程が見渡せるコースなので、好天に恵まれ展望が得られることを期待して就寝。

#### 第4日目 8月10日(金) 三国峠コース

4:00、起床。朝の空気はさわやかで、登山行動3日間の中で、一番天気はよさそうである。

5:32、引継式。昨日体調不良をおこした生徒は元気になったものの、本日の行動は棄権との

報告を受けた。設営隊長から最後の激励を受ける。

5:50、バスに乗り込み、設営隊からの最後の見送りを受けて出発。バスの中で生徒の様子を見ると、3日間生活した幕営地とお世話になった設営隊との最後のお別れに、何となく名残惜しそうな表情が見られ、私自身胸からこみ上げるものがあった。

6:15、三国峠登山口着。駐車スペースが狭いため、混乱するのではと心配しているが、杞憂に終わり、スムーズに出発地点に各班が整列した。

6:25、予定よりも5分早く出発。歴史ある峠道を歩く選手の様子は、さながら戦国時代に戦へ向かう上杉軍のように感じられた。

7:05、三国峠着。御坂三社神社前が狭いため、登山道に並び休憩。ここにいる全員が、「三国峠を越えた人々」の碑に名を連ねる資格を得ることができた。

ここからがこのコース最大の難所であったが、一昨日から3つめの山を登るとは思えない元気さで、選手は登っていた。途中の傾斜が緩やかになっている場所に広がるお花畑では、一時であるが気持ちがほぐれた。

7:52、キツイ登りを終えて、三国山直下のトラバースにはいる。三国山の山頂を前にして残念であるが、いつか登り切って欲しいものである。

10:03、三角山山頂。このコース唯一の「山頂」と言える場所であるが、狭いために休憩は取らず通過。ここから、前方に一昨日登った平標山、右手に昨日登った苗場山を望める、ビューポイントである。また、B隊と交差する地点であったが、





B隊が予定より遅れていたためまったく問題なかった。

11:00、平標山の家前を通過。ここで総監督の激励を受ける。ここからは一昨日と同じコースであるが、最終日ということもあり、選手の様子は随分違っていたように感じた。

11:56、林道出会い到着。大休止の後出発。カラマツ林の下の木陰を気持ちよく歩く。

13:34、平標駐車場着。駐車場で解散式を行った。解散式では、コース隊長挨拶で「この大会は多くの人のおかげであって開催することができた。その人達に感謝すると共に、これまで以上に自然について考え、自然を守る立場に立って欲しい」と話をした。続いて次期開催県の大分県からの挨拶、自衛隊他お世話になった方々への感謝の言葉で解散式を終えた。解散式後、自然に選手が集まり班長・副班長の胴上げが始まった。躊躇する班長・副班長を追いかける姿も見られ、ほほえましく感じた。思いもかけず新潟県選手らに声をかけられ、私も胴上げしていただいた。大会直前にA隊コース隊長を受けると事となり、不安の中で大会期間を過ごしていただけに、宙に舞っている時は、思わず涙が出そうになった。



今大会は、久しぶりに全行程が予定どおり踏査できた大会であった。天候に恵まれたことはもちろん、大きな事故なく終えられたことは、選手、監督はもちろん、行動隊役員・設営隊役員・本部役員・開催地である湯沢町、その他この大会に関わった全ての方々のおかげである。今回の北信越かがやき総体では「絆」がテーマの一つであり、

互いに助けあうことで大会を成功させようという思いで準備を進めてきた。様々な困難があったものの、その「絆」によって乗り越えてきた。以前、大会役員を前に、『参加した選手・監督だけでなく、運営する我々も「よかった」と思える大会にしたい』と言ったことがある。この報告を書いている今、いくつかの反省すべき点はあるものの、私自身は『よかった』と胸をはって言える大会であった。このような機会を与えていただいたことに、心から感謝申し上げます。